

ユネスコ無形文化遺産
国指定重要無形民俗文化財

こもせ通りでかがり火を囲み、少しずつ左へ移動する輪踊りで、常に内側を向いてゆったりとしたテンポで優雅に踊るさまは、なんとも言えない風情がある。また、たんすの底を着ると言われる踊り手は男女とも豆絞りの手拭いで頬被りをし、紋付きや留袖に蹴出し、きらびやかな帯で踊る衣装が特徴である。

[illegible]

<http://www.ink.or.jp/~kemanai09/>